

警 防 編

1 消防力の現況

(1) 消防職員の現況

区 分	消防本部	中央署	西 署	東 署	合 計
警 防 要 員		69	39	57	165
救 急 要 員		24	12	12	48
警 防・救 急 要 員			68		68
予 防 要 員	14	2	2	2	20
そ の 他 の 要 員	41	1	5	1	48
合 計	55	96	126	72	349

(2) 消防団員の現況

区 分	警 防 要 員	本 部 要 員	合 計
釧 路 市 消 防 団	460	7	467

(3) 消防水利（地域別消防水利施設現勢表）

地区	水利	公 設			
	消 火 栓	防 火 水 槽 (40m ³ 級)	耐 震 性 貯 水 槽 (100m ³ 級)	指 定 水 利	計
大 楽 毛	194	11			205
鉄 西	247	32		1	280
白 糠	126	43			169
阿 寒	85	12			97
阿 寒 湖 温 泉	25	8		1	34
音 別	22	26			48
愛 国	146	31			177
鉄 北	225	36		1	262
橋 北	117	52	1	2	172
橋 南	310	93	1	3	407
春 採	146	31			177
白 樺	37	2			39
合 計	1,680	377	2	8	2,067

(2) 出動計画

ア 消防部隊出動計画

市街地における防火対象物の建ぺい率、構造率、年間平均風速、消防水利、消防車の走行速度等々、燃焼消火のエネルギー関係を科学的に分析し、次の基準で出動計画を決めている。

(ア) 火災出動計画

出動区分	出動台数	出動基準
第1出動	9台～10台	火災を覚知した時
第2出動	13台～14台	先着指揮官の要請又は異常気象時
第3出動	20台～22台	現場指揮官の要請
特命出動	必要台数	災害状況に応じて指揮官の要請

(イ) 救助救急出動計画

覚知時 3台～5台(救急車含む)

特命出動 必要数

(ウ) 警戒出動計画

覚知時 1台～2台

イ 非常災害時出動計画

地震災害時、烈風時火災、豪雪時火災、水災等、それぞれの災害を分析し釧路市消防警防規程及び釧路市消防警防規程運用要綱を定め、消防部隊の強化を図っている。

ウ 石油コンビナート等特別防災区域内出動計画

当市の石油貯蔵基地は石油コンビナート等災害防止法に基づき西港区域が特別防災区域として指定されており、北海道石油コンビナート等防災計画にのっとり、化学車等を基本に特別防災区域出動計画を定めている。

(3) 災害活動に対する民間協力体制の確立

消防は隊員とこれが装備する資機材によって、各種災害に対応しなければならない。しかし、消防が有する装備と資機材のみによって対応しがたい場合があり、その対応策が強く望まれていた。

このような時に、市内の特殊資機材を有する民間企業が消防の行う活動に協力する目的をもって『釧路市救助協力会』が発足し、釧路市民を災害から守る防災対策が一層強化された。

ア 設立 昭和56年4月22日

イ 組織 6部会 24事業所

- ・クレーン部会(6事業所)
- ・重機部会(5事業所)
- ・鉄工部会(2事業所)
- ・解体部会(2事業所)
- ・鳶工部会(7事業所)
- ・潜水部会(2事業所)

(4) 林野火災及び大規模災害に対処する防災体制の確立

釧路市愛国191の1に『釧路市空中消火等補給基地』(ヘリコプター離着陸広場 13,879.48㎡、40m³級貯水槽1基、資機材保管施設1棟、消火剤散布装置5基)が昭和61年11月29日に完成を見た。この基地完成により、湿原、山林火災の消火及び災害時の救助救急等防災対策が一層強化された。

3 火災・警戒出動概要

平成 20 年中の出動状況は 91 件の火災が発生し、車両延べ 521 台、職団員延べ 2,698 名が出動し消防活動を行った。その概要は次表のとおりである。

(1) 火災出動状況

区分 月	火災件数	出 動 台 数 (台)			出 動 人 員 (名)		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
1 月	4	12	2	14	62	22	84
2 月	12 (3)	57	10	67	233	124	357
3 月	11 (1)	90	20	110	337	224	561
4 月	15 (2)	42	6	48	195	84	279
5 月	9	43	8	51	182	80	262
6 月	5 (1)	23	4	27	94	51	145
7 月	5 (1)	26	7	33	110	63	173
8 月	9 (1)	54	10	64	201	100	301
9 月	9 (1)	30	4	34	113	52	165
10 月	6	31	5	36	132	61	193
11 月	5 (1)	20	6	26	81	37	118
12 月	1	9	2	11	38	22	60
合 計	91 (11)	437	84	521	1,778	920	2,698

()は、白糠町の内数

(2) 過去 5 年間の火災出動状況の推移

区分 分年	火災件数	出 動 台 数 (台)			出 動 人 員 (名)		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
平 成 16 年	90	428	97	525	1,885	1,218	3,103
平 成 17 年	89(8)	412	88	500	1,715	1,005	2,720
平 成 18 年	80(7)	428	103	531	1,839	1,207	3,046
平 成 19 年	113(8)	529	108	637	2,281	1,128	3,409
平 成 20 年	91(11)	437	84	521	1,778	920	2,698

()は、白糠町の内数

(3) 過去5年間の警戒出動状況及び推移

年区分	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
出動件数	508	506 (37)	573 (44)	506 (24)	692 (44)
集合煙突	5	5	6 (1)	1	8 (1)
焚き火	0	8	17 (2)	6	9
電柱	0	0	1	6	4
異常燃焼	7	6	11	9	17 (1)
油関係	108	123 (4)	150 (6)	135 (1)	101 (4)
ガス関係	10	8 (1)	5	7	8
自火報	65	77 (8)	53 (2)	56 (6)	53 (3)
漏電警報器	2	0	4	2	2
非常警報	2	1	3	4	
緊急ボタン	6	3 (2)	10 (5)	17 (1)	19
危険排除				59 (3)	223 (9)
その他	303	275 (22)	313 (28)	204 (13)	248 (26)
出動台数	770	796 (60)	826 (45)	820 (33)	1,114 (85)
出動人員	3,614	3,703 (191)	3,951 (141)	3,702 (141)	5,279 (354)

()は、白糠町の内数

4 救助出動概要

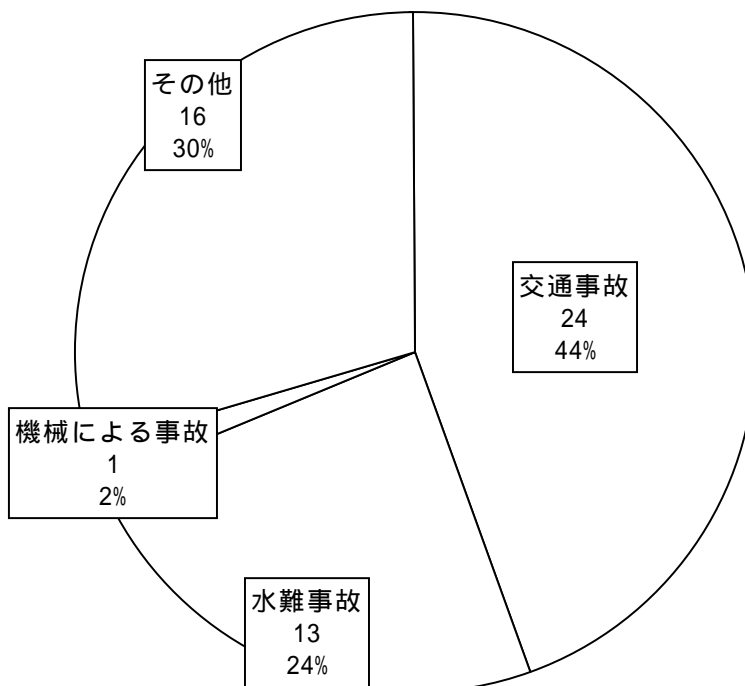
平成20年中の救助出動は54件発生し、車両延べ252台、人員延べ1,075名が出動し救助活動を行った。その概要は次表のとおりである。

(1) 前年比救助出動状況

区分	年	平成19年		平成20年	
		出動件数	救助人員	出動件数	救助人員
出動件数		75 (8)	118 (6)	54 (5)	47 (3)
交通事故		49 (8)	91 (6)	24 (2)	28 (1)
水難事故		15	13	13 (2)	8 (2)
自然災害					
機械による事故		1	1	1	1
ガス及び酸欠による事故				1	
建物等による事故				2	3
爆発事故					
その他		10	13	13 (1)	7
出動台数		322	(28)	252	(24)
出動人員		1,288	(123)	1,075	(92)

()は、白糠町の内数

(2) 事故種別救助出動状況



(3) 月別救助出動状況

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出 動 件 数		1	6	4	9	4	5	9	4	3	2	3	4	54
交 通 事 故			2	1	7	1	2	5	2	1	1		2	24
水 難 事 故			2			2	2	2	1	1	1	1	1	13
自 然 災 害														
機 械 に よ る 事 故												1		1
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故							1							1
建 物 等 に よ る 事 故					1				1					2
爆 発 事 故														
そ の 他		1	2	3	1	1		2		1		1	1	13
出 動 台 数		3	28	31	35	21	24	35	19	13	7	15	21	252
出 動 人 員		16	114	182	158	73	99	134	73	55	42	53	76	1,075
救 出 人 員			9	3	8	2	4	4	4	3	3	2	5	47

(4) 署々別救助出動状況

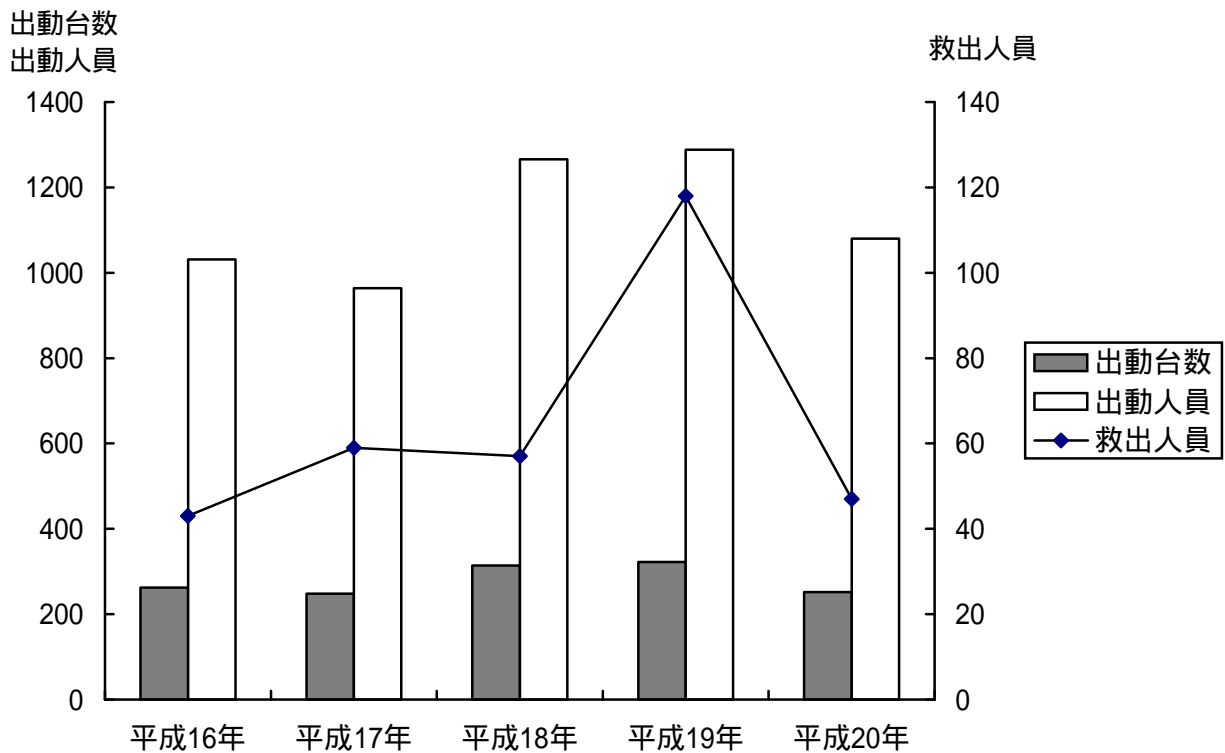
区分	月	中央消防署	西消防署	東消防署	合計
出 動 件 数		17	29 (5)	8	54 (5)
交 通 事 故		8	16 (2)		24 (2)
水 難 事 故		4	5 (2)	4	13 (2)
自 然 災 害					
機 械 に よ る 事 故			1		1
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故			1		1
建 物 等 に よ る 事 故		1	1		2
爆 発 事 故					
そ の 他		4	5 (1)	4	13
出 動 台 数		94	117 (24)	41	252 (24)
出 動 人 員		429	508 (92)	138	1,075 (92)
救 出 人 員		18	23 (3)	6	47 (3)

()は、白糠町の内数

(5) 過去5年間の救助出動状況の推移

区分	月	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
出 動 件 数		57	77 (13)	78 (11)	75 (8)	54 (5)
交 通 事 故		26	52 (12)	55 (8)	49 (8)	24 (2)
水 難 事 故		17	12	10 (1)	15	13 (2)
自 然 災 害						
機 械 に よ る 事 故		2		5 (2)	1	1
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故						1
建 物 等 に よ る 事 故		1	2	3		2
爆 発 事 故						
そ の 他		11	11 (1)	5	10	13 (1)
出 動 台 数		262	248 (15)	314 (18)	322 (28)	252 (24)
出 動 人 員		1,031	964 (44)	1,266 (71)	1,288 (123)	1,075 (92)
救 出 人 員		43	59 (4)	57 (4)	118 (6)	47 (3)

()は、白糠町の内数



5 消防通信

消防通信は、有線通信及び無線通信に大別され、それぞれの法令（有線電気通信法・電波法）に基づき運用されている。

(1) 有線通信施設

区 分	種 別	施 設 数	適 用	
有 線 電 話	消 防 救 急 指 令 台	119番回線	4(0)回線	I N S回線（一般・携帯・I P全て重畳）、同時8回線
		一斉指令・署所端末回線	40(0)回線	署・支署・救急 - 音声指令・指令電送
		一斉指令・署所端末回線白糖用	1(1)回線	D A 1 2 8
		指令台用局線	2(0)回線	I N S回線、同時4回線
		順次指令用局線	2(0)回線	I N S回線、同時4回線
		孤立防止回線	2(0)回線	衛星回線（受信専用2）
	一 般	加入電話	27(2)回線	本部・署・支署、1～12分団（I N S回線、電話・FAX）
		災害情報自動案内	1(0)回線	災害等案内（NTT側設備で100回線）
		内線電話	259(12)回線	本部・署・支署、1～12分団（NTT専用線）
		北海道総合行政情報ネットワーク専用電話	2(1)回線	本部総務課、白糖支署に設置
市イントラ用光ファイバーを活用し、多重装置で実現（指令回線・指令電送・内線回線・0A回線等）				
白糖支署DA64回線で指令回線・指令電送・内線回線・0A回線等に活用				
（ ）内は白糖支署内数				

(2) 無線通信施設

区 分 ・ 種 別	施 設 数	摘 要			
無 線 設 備	基 地 局	8局(1局)	25W(本部) - 移動局、受令機に対する災害指令 10W(中央消防署・西消防署・東消防署・阿寒支署・阿寒湖支署・音別支署・白糖支署) 陸上移動局に対する通信		
		固 定 局	8局(1局)	25W(本部) - 固定局に対して通信 10W(中央消防署・西消防署・東消防署・阿寒支署・阿寒湖支署・音別支署・白糖支署) 固定局に対して通信 5W - 署・支署への受信設備用	
	陸上移動局		支署及びセンター	14局	支署 5局, 地区防災センター 9局
			車 載	101局(17局)	消防車 87局(15局), 救急車 12局(2局), 注) その他 2局
	受 信 機	携 帯	123局(18局)	10W 4局, 5W 102局(18局), 1W 17局	
		指 令 端 末 用 受 信 機	15台	署・支署 14台, 職員住宅 1台	
	そ の 他	受 令 機	197台	署・支署 108台, 分団 63台, 本部 26台	
携 帯 電 話		16台(4台)	通信指令課, 警防課, 中央救急, 西救急, 愛国救急, 武佐救急, 白糖×4, 阿寒, 音別, 阿寒湖×2, 市立病院, 医師会病院		
衛 星 携 帯 電 話		4台(1台)	救急阿寒湖, 救急音別, 救急白糖 1、救急阿寒		

()内は白糖支署内数

(3) 無線局チャンネル及び周波数

チャンネル	周波数	通常時	大規模災害時
第1	149.71 Mhz	活動波 2	中央方面本部活動波
第2	152.79 Mhz	同報波	情報波
第3	150.73 Mhz	全国共通波 1	
第4	150.35 Mhz	メイン	西方面本部活動波
第5	151.31 Mhz	活動波 3	東方面本部活動波
第6	148.75 Mhz	全国共通波 2	
第7	154.15 Mhz	全国共通波 3	
旧西部波	149.75 Mhz	旧西部消防組合波	
救急波	147.50 Mhz	本部送信	
救急波	143.50 Mhz	救急車両送信	

(4) 災害通報等受付件数

項目	火災	警戒	救助	救急	その他	合計
119番受付	66	411	34	7,876	7,118	15,505
	(9)	(24)	(2)	(439)		(474)
加入電話受付	13	197	9	344	21	584
	(1)	(14)	(2)	(18)		(35)
警察電話受付	1	27	9	100	3	140
	(0)	(1)	(1)	(9)		(11)
無線受付	0	30	0	50	0	80
	(0)	(2)	(0)	(4)		(6)
その他	11	27	2	72	235	347
	(1)	(3)	(0)	(17)		(21)
合計	91	692	54	8,442	7,377	16,656
	(11)	(44)	(5)	(487)		(547)

各項目下段()内の数値は、白糠町の件数で上段の内数

上表(4)災害通報等受付件数のその他の内訳

項目	問合せ	訓練	試験	誤報	いたずら	携帯転送	その他	合計
件数	1,338	1,233	981	755	157	20	2,893	7,377

6 研修及び訓練実施状況

(1) 研修

種別	項 目		対 象 及 び 内 容	期間・回数	人員・時間	
本 部 研 修	資格取得		大型自動車運転免許取得	1回	8人	
			無線従事者免許取得	1回	1人	
			潜水士資格取得	1回	2人	
	派 遣	病 院 実 習		救急救命士就業前研修	1回	1人
				救急救命士資格者	4回	48人
		消防学校		初任教育前期	116日間	4人
				初任教育後期	116日間	4人
				専科教育救急科	38日間	7人
				幹部教育新任消防長研修	4日間	1人
				気管挿管講習(白糠)	12日間	1人
		消防大学		総合教育新任消防長科	8日間	1人
				専科教育救助科	37日間	1人
				専科教育火災調査科	37日間	1人
	市職員研修		釧路市職員研修計画による	9回	9人	
	新規採用職員研修		平成20年度採用職員	2回	3人	
	専科研修		上級救命講習	1回	6人	
			水難救助特別教育	1回	3人	
			予防課程	3回	87人	
			警防課程	3回	39人	
	特別研修		潜水特別講演	1回	17人	
消防職員意見発表会			1回	10人		
消防職団員研究発表会			1回	6件		
所 属 研 修	係 別	消 防 隊 研 修		中央消防署	160回	198時間
				西消防署	198回	787時間
				東消防署	252回	1048時間
	研 修	救 助 隊 研 修		中央消防署	90回	149時間
				西消防署	181回	947時間
				東消防署	115回	614時間
	救 急 隊 研 修		救急資格者研修	912回	1919時間	

(2) 訓練

種別	項目	対象及び内容	期間・回数	人員・時間
本部 訓練	演習	春季消防演習	観閲	1回 26台452人
		秋季消防演習	慰霊祭・団競技大会	1回 26台447人
		釧路市防災総合訓練	9月4日	1回 155人
	各種 訓練	水難救助訓練	泳法及び潜水訓練	77回 32人
		消防活動技能訓練	指定された隊員	66回 7人
		警防活動研修訓練	指定された隊員	10日間 10人
		潜水土養成訓練	指定された隊員	6日間 3人
大会	全道消防救助技術訓練指導会	札幌市(7月24日)(障害突破)	1回 8人	
所属 訓練	係別	消防隊訓練	中央消防署	902回 974時間
			西消防署	2167回 7,905時間
			東消防署	941回 2737時間
	専科	救助隊訓練	中央消防署	763回 1,155時間
			西消防署	651回 3016時間
			東消防署	595回 3146時間
		救急隊訓練	救急資格者研修	1194回 1,409時間

(3) 消防団

種別	項目	対象及び内容	期間・回数	人員・時間	
研修 訓練	資格取得	中型自動車運転免許取得	1回	6人	
		特別研修	女性消防団員研修	1回	31人
	機関教養		2回	36人	
	予防教養		36回	355人	
	幹部教養		1回	25人	
	視察研修	消防団員技能競技大会視察	1回	18人	
		北海道消防学校入校	消防団員普通教育(男)	1回	1人
			消防団員幹部教育	1回	1人
	競技大会	釧路市消防団員	ポンプ自動車・小型ポンプ	7ヶ分団	36人
		北海道消防協会 釧路地方支部消防団員 技能競技大会	弟子屈町(9月13日) ポンプ自動車・小型ポンプ	7ヶ分団	36人
	訓練	規律訓練	訓練礼式	18回	123人
防ぎよ訓練			競技訓練	77回	770人
			署・団合同訓練	18回	185人